

ますます増える世界の孤児たちに希望の人生を

孤児院に入ってくる子どもたちは、HIVに感染している孤児もおり、両親がいない子どもはもちろん、生年月日の分からない子どもや、もし孤児院に来ていなければ間違いなくもう生きてはいなかったと思える子どもたちばかりです。

現在、礎の石孤児院では、カンボジア、フィリピン、ザンビアにおいて孤児たちを受け入れ、孤児院としての働きをしております。また、日本において児童養護施設設立の支援をしていきます。私たちは、さらに多くの国々で孤児院の働きを始めていきたいと願っています。どうぞご支援をよろしくおねがい致します。

支援金送付先

当団体は認定NPOの認可を受けており、皆様のご寄付は「寄付金控除」の対象になります。

郵便振替	【口座番号】 00130-5-24249 【口座名】 特定非営利活動法人 礎の石孤児院
銀行振込口座	みずほ銀行 五反田支店 【口座番号】 普通 2069305 【口座名】 特定非営利活動法人 礎の石孤児院
銀行振込口座	みずほ銀行 五反田支店 【口座番号】 普通 2915961 【口座名】 特定非営利活動法人 礎の石孤児院 日本での孤児院設立及び支援のため
郵便振替口座	【口座番号】 00120-5-417839 【加入者名】 特定非営利活動法人 礎の石孤児院 日本での孤児院設立及び支援のため

礎の石孤児院・会員(パートナー)募集中

私たちNPO法人「礎の石孤児院」では皆様のご支援金によって各孤児院の運営が支えられており、子どもたちが養われております。定期的に支援金をもって支えてくださる会員を募集しております。

- 会費:1口500円~/月 ●お一人様、何口でも寄付できます
- 会費の納入は【一括】もしくは【分割】を選択できます

お申し込みは郵便番号・住所・氏名・電話番号・メールアドレスをお書き添えの上、下記の住所またはEメールアドレスまでお送りください。(※正会員のお申し込みをご希望の方は事務局にお問い合わせ願います)

特定非営利活動法人
礎の石孤児院東京事務局

〒141-0031 東京都品川区西五反田1-14-1 クレイズビル岩崎201
TEL:03-5740-8814 FAX:03-5740-8817
E-mail:ishizue@athena.ocn.ne.jp

礎の石孤児院WEBSITE <http://www.cornerstone.or.jp>

 礎の石孤児院のFacebookページを「いいね!」して活動を応援してください。

2019
09

2019年8月 第216号



ザンビア孤児院に訪問された浅田美代子さんとMisiaさん(ザンビア孤児院)

皆さまの尊い御支援、御協力、いつもありがとうございます。

今回、皆さまの御支援によって来日実現となったカンボジア孤児院の5名の子ども達は、当初の予定通り、8月10日に無事カンボジアへ帰国しました。来日の際は、東京を初め、関西、九州等で報告会が持たれ、多くの方々の参加があったとのことでした。子ども達にとっても、大きな貴重な体験となり、今後の成長におおきな糧となることを確信しております。子ども達の来日の際には、色々なかたちで支えて下さった方々に、この誌面をお借りして、心から御礼申し上げます。

私としましても、直接子ども達の成長をみる事ができて、本当に嬉しく思いました。

ただ、カンボジア孤児院を例にすると、やはり経済の発展に伴う諸経費の値上げは思いの外大きく各孤児院にのしかかり、各孤児院とも運営費がギリギリの状態であります。子ども達のことを思い、少しでも増額したいところですが、なかなか思うようにいかないところでもあります。

また先日、皆さまのおかげをもちまして、カンボジア孤児院の国際NGOが無事、更新されましたことを御報告させていただきます。

いつも同じことばで大変恐縮ですが、どうぞ皆さまの御支援、御協力、今後とも何卒よろしくお願い申し上げます。

認定NPO法人 礎の石孤児院 理事長 北野 直人

カンボジア孤児院レポート

ルツ前田

チヨムリアプスワ!(こんにちは!)『礎の石孤児院』の働きの為の皆様からのご支援とご協力を、心から感謝申し上げます。7月19日～8月8日まで3週間の日本滞在を終えて、無事カンボジアに戻って来ました。滞在中は、沢山のご支援者の皆様にお会い出来、心より感謝いたします。東京、長野、長崎、関西、四日市で持たれた孤児院報告会では、ご出席頂きました皆様にカンボジアの現状をお伝えし、成長した子ども達自身からお礼をお伝えすることが出来、ほんとうに良かったです。今回は、日本各地に行く中で、子ども達は日本の文化や生活などを知り、学ぶことが出来たことを、とても喜んでいました。皆様のご支援によって、このような機会を与えて頂きましたことは、彼らの将来にさらに大きな夢と希望を与えるものになりましたことを、皆様に心から感謝申し上げます。留守にした孤児院の働きも守られ、子ども達も元気に過ごすことが出来ました。3年前も4ヶ月間留守を助けて下さった今井さんが、今回も3泊4日で孤児院での助けをして頂き、本当に助かりました。帰国時には、沢山のご支援の品々を頂いて戻って来ることが出来ました。本当に、ありがとうございました。



カンボジアから日本へ発つ前の5人の子ども達、プノンペン国際空港にて。

フィリピン孤児院レポート

エディー・エミア

皆様のご支援を心から感謝致します。8月～12月、ダバオは果物に溢れています。ドリアンやマンゴスチン、ランブータンなどが安く売られます。8月の第3週には、毎年恒例ダバオ最大の祭り、カダヤワンフェスティバルが行われます。学校では8月14日と8月15日に最初の学期試験があり、8月24日はPTAの定例会が行われます。8月30日には国語月間と国民的英雄の日の行事があり、教師も生徒もフィリピンの民族衣装を着て参加します。皆様のご支援によって子どもは喜びと熱意を持って学校に通っています。今年度の子どもたちの学費等の必要があと\$1,377.13(15万5千円)あります。このために引き続き皆様のご支援ご協力をお願い致します。



スアワン高校の教師をしているグレイススタッフ

ザンビア孤児院レポート

シオン桜子ムタレ

ムリシャーニ(お元気ですか)? 皆様の日頃のご支援に心から感謝申し上げます。雨不足から主食であるメイズの値段が跳ね上がり、普段の物価高に加えて、更に厳。同じ理由で、毎日の停電も続いています。そんな中で、7月の終わりにはJICA(国際協力事業団)を通して歌手のMisiaさんと女優の浅田美代子さんの訪問を受けました。特にMisiaさんは、8月末に日本で開催されるアフリカ開発会議の名誉大使の働きも担っていて、アフリカへの関心が高く、色々な支援をされているとの事です。アウトリーチで、橋のたもとで生活しているストリートチルドレンを訪れた時には、お二人ともショックを受け涙を流しながらも、一生懸命に子どもたちへの愛情と元気を与えようとして下さって、その姿に、わたし自身も感動しました。ザンビア政府の、子どもの福祉に関わる重要なポストにある方々の同行もあり、このような機会に、ストリートチルドレンへの偏見がなくなり、更に彼らの救済のために良きパートナーとして協働していける事も期待しています。



ジャスパムタレさん、桜子さんご家族

ブラジル孤児院レポート

松本弘子

皆様のご支援をありがとうございます。7月19日から9月4日まで一時帰国しています。期間中に、東京・高円寺、安曇郡小谷村にて報告会の時を持たせていただきました。また、地域の診療所で健康診断と、以前B型肝炎をやったことがあるので、肝炎ウィルス検査をして行ってきました。結果はB型もC型も陰性で、事務局スタッフで看護師のUさんに2004年のブラジルの検査結果と今回の結果をお見せしたところ、「ウィルスに感染して抗原が体内に入ると抗体ができると、抗原が減ることがあるので、それによって、検査で検出されないほど抗原が少なくなっていることもあり得る。他人への感染が心配ないほどに治ってきているのではないか? 今回の検査は抗原の値しか検査していないようだが、ブラジルの検査は抗体(HBs、HBc、HBeの3種類)検査もあって、より高度な検査だ」とのことです。安心しました。今回、再度肝炎ウィルスの検査をさせていただき経過を見ることができ、また詳しくアドバイスいただいて、とても感謝しています。引き続きご支援をよろしくお願い致します。



スタッフのUさんと